

殺虫剤

協友

ダイアジノン[®]水和剤34

ダイアジノン..... 34.0%

種類名/ダイアジノン水和剤
農林水産省登録/第23644号
毒性/劇物
有効年限/4年
包装/500g×20

特 長

- 広範囲の害虫に優れた効果を発揮します。

適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
りんご	モモシンクイガ ナシヒメシンクイ リンゴハナゾウムシ モンシロドクガ リンゴフユシャク リンゴワタムシ	1000倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	本剤 4回 ダイアジノン剤 4回	散布
	クワコナカイガラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類 オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫 ナシグンバイ キンモンホンガ アメリカシロヒトリ	1000～ 1500倍				
日本なし 西洋なし	コナカイガラムシ類若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類 ナシグンバイ アメリカシロヒトリ	1000倍		収穫14日前 まで	本剤 6回 ダイアジノン剤 6回 【休眠期は1回】	
	モンシロドクガ シンクイムシ類					
もも	シンクイムシ類	1000～ 1500倍		収穫前日 まで	本剤 4回 ダイアジノン剤 4回	
	カイガラムシ類 ハマキムシ類 アブラムシ類					
ネクタリン	シンクイムシ類	1000～ 1500倍		収穫21日前 まで	本剤 3回 ダイアジノン剤 3回	
	クワコナカイガラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類					
おうとう	アブラムシ類 ハマキムシ類 ナシグンバイ アメリカシロヒトリ	1000倍		収穫14日前 まで	本剤 2回 ダイアジノン剤 2回	
	ウメシロカイガラムシ					
小粒核果類 (ずもを除く)	シンクイムシ類	1000～ 1500倍	収穫21日前 まで	本剤 4回 ダイアジノン剤 4回		
	アブラムシ類 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ					
すもも	シンクイムシ類	1000倍				

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
大粒種 ぶど	クワコナカイガラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アブラムシ類 ミドリヒメヨコバイ	1000～ 1500倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	本剤 2回 ダイアジノン剤 2回	散布
	かき	オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫 ハマキムシ類 アメリカシロヒトリ		1000倍	収穫45日前 まで	
キャベツ	キボシマルトビムシ	600倍	100～ 300ℓ	収穫30日前 まで	本剤 2回 ダイアジノン剤 2回	
	コナガ アブラムシ類	2000倍				
	クスジノミハムシ アオムシ	1000倍				
ブロッコリー カリフラワー	キボシマルトビムシ	600倍			本剤 2回 ダイアジノン剤 2回 〔粒剤の生育期 の処理は1回〕	
	コナガ アブラムシ類	2000倍				
	クスジノミハムシ アオムシ	1000倍				
ほうれんそう	アブラムシ類	2000倍		収穫21日前 まで	本剤 2回 ダイアジノン剤 2回 〔は種時及びは種前 の土壌混和は合計 1回〕	
ねぎ	アザミウマ類	600～ 1000倍				
	ネギハモグリバエ	600倍				
たまねぎ	アブラムシ類	2000倍			本剤 2回 ダイアジノン剤 2回	
	アザミウマ類	1000倍				
にんにく	ネギコガ				収穫14日前 まで	
しろり	キボシマルトビムシ	600倍				
	アブラムシ類	2000倍				
	ハダニ類	600～ 1000倍				
すいか メロン	キボシマルトビムシ	600倍		本剤 4回 ダイアジノン剤 4回		
	アブラムシ類	2000倍				
	ハダニ類	600～ 1000倍				
かぼちゃ	キボシマルトビムシ	600倍	収穫21日前 まで	本剤 4回 ダイアジノン剤 4回 〔粒剤の生育期 の処理は3回〕		
	アブラムシ類	2000倍				
	ハダニ類	600～ 1000倍				
なす (露地栽培)	テントウムシダマシ アブラムシ類	2000倍	収穫開始 3日前まで	本剤 3回 ダイアジノン剤 3回 〔粒剤の生育期 の処理は2回〕		
	ハダニ類	1000倍				

(つづく)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
ばれいしょ	テントウムシダマシ アブラムシ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	本剤 3回 ダイアジノン剤 3回 〔植付前の土壌 混和は1回〕	散布
樹木類	アメリカシロヒトリ	1000～ 1500倍	200～ 700ℓ	発生初期	本剤 4回 ダイアジノン剤 4回	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■混用・薬害

- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- りんごに使用する場合、落花20日後頃までの散布は、薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。

■毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（甲殻類、ドジョウ、ボラ）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。比較的低温でも魚が平衡失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用はさけてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- ハウス内での散布後は、十分に換気入室してください。
- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤があります。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際は、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■貯蔵上の注意



●密封し、直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。